

神田通信

●歌稿の送り先について●

十一月以降も

月々の歌稿の送り先は

263-0031 千葉市稲毛区稲毛東

6-10-2-1202

関谷方 久我田鶴子

締切は、毎月一日必着です。

郵便物の土曜日配達が十月から休止、届けられる日数も繰り下げとなりました。

時間の余裕をもってお送りください。

新型コロナウイルスによる状況が落ち着くまで本社に集まって作業することを控えています。

◆屋外で必要のない場合ではマスクを外すことを推奨すると厚生労働省は言うが、街の人々はほと

んど着用している。私は手にマスクを持ってアビールしながら外している。相互監視の呪縛から逃れるのは時間がかかる。

(高尾)

◆科挙の試験、トップ合格を状元といい、二位を榜眼(眼が二つなので二の隠語)、三位を探花という。探花は読みが短歌と同じでありました。(茂木)

◆今年の夏は長く暑かったが、このままラニーニャ現象が続くならば、冬も厳しいらしい。昨年の雪の多さと寒さを思い出して……少し震えている。(木村)

◆「珊瑚色の地球」は歌詞もメロディも好きだ。この曲りリースの年にわが次男も神田沙也加も誕生している。コロナ、ウクライナ、SDGs、自殺防止に希望を与える曲とも思ってきた。

◆聖子と母娘でこの曲を歌う姿がユーチューブに残されているのはやはり辛い。(和美)

◆九月。待ってましたとばかり、梨や葡萄が店頭に並ぶ。色といい、形といい、味といい、こん

なに贅沢をしていいのかと思うほど。農家の方々のたゆまぬ努力に感謝しつつ。(磯田)

◆九十歳が近いKさん。目が悪くなって、本を読むことは難しくなったけれど、短歌を作っていられる今、短歌があって、地中海があって本当に良かったと、しみじみ言われた。(楡垣)

◆私の会社(百貨店)は九月から制服がなくなった。基本はジャケットスタイルだが、エプロン着用の服装はかなりラフな人も。お客様はどう見ているのか。(玉井)

◆人類滅亡のシナリオ、二酸化炭素排出をゼロにして植物が育たなくなり、食糧不足から皆餓死する。今目指しているのはこんな世界。(成彦)

◆夏休みに種から育てた蚕が全部きれいな繭になった。繭から取り出した蛹は、ほしがっていた友人にあげた。栄益があるからと喜ばれた。(藤田)

◆「NHK短歌」十月号、穂村弘の「あの人と短歌」はゲスト

に俳人の堀本裕樹氏。小野茂樹の歌「あの夏の……」をめぐって、堀本氏は「ゆったりとした時間性の表現は、短歌の大きな魅力です。」と語っていました。

◆九月。今号の編集は、締切から週明け十二日(月)の郵便の配達を待って行いました。

◆菊岡栄子さんの追悼号です。フットワーク軽くどこへでも出掛けられ、コストリカに行ってケツァールを見てきたと嬉しそうに語られたことも思い出されます。

◆新シリーズ「第一歌集を読む」が始まります。「第一歌集の頃」では作者自身に語ってもらいましたが、今度は初めてその歌集を読むという方を執筆者に。新たな出会いが、やがて作歌論にも繋がっていくことを期待しています。詳しくは、86・87ページをご覧ください。

◆次号、十二月号はこの一年間の自選号です。編集部ではそれをもとにして次期オリーブ集の選考に入ります。(久我)

クリップ

■入会届・退会届について

葉書に、①氏名(ふりがな)

②住所 ③電話番号 ④生年月日

⑤性別 ⑥送本開始(停止)

月を記入の上、本社に提出してください。退会届の場合は、①

②⑥の記入をお願いします。急な送本停止には対応できませんので、ご了承ください。

■会費納入について

会費は、半年分、または一年分を前納することになっていきます。

各欄の月額は次の通りです。

・ A 欄 二〇〇〇円

・ B 欄 一五〇〇円

・ C 欄 一〇〇〇円

・ 購読 一〇〇〇円

二十歳未満の学生は五〇〇円です。(若い人たちは是非ご勧誘ください)

00160・4・179569 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳をお書きください。支社・グループでまとめて納入していただくと幸いです。

■原稿用紙のご注文について

一冊一五〇円。それに送料がかかりますので、まとめてのご注文がお勧めです。本社、または担当の茂木斌までご連絡ください。こちらから発送する際に振込用紙を同封いたしますので、代金はそれを使って振り込んでください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡ください。代金は一冊一〇〇〇円。ただし、七〇周年記念号については、一冊二〇〇〇円です。会費と同じ「地中海社」の口座をお願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めになる場合は、送料のみご負担いただきます。二冊までなら二〇〇円分の切手を同封してお申し込みください。

■歌集を出版する際には

地中海設書番号をご請求ください。葉書に住所氏名の他に、①歌集名(未定の場合には仮題でも)②発行時期 ③版元を記入して本社宛に。折り返し、登録した設書番号と事務手続きの文書をお送りいたします。

出版後には本社保管用に一冊お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌集出版を考えていて、自分ではどうしていいか分からず困っている方のために立ち上げました。

印刷・製本は、本誌の印刷をしている京成社にお願いしています。二、三〇万円くらいでも予算に応じた出版が可能です。まずは、編集部にご相談ください。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。電話はありますが、常駐する者がおられませんので、誰かが本誌で作業している時にしか通じません。急を要する場合には、

・ 久我：TEL & FAX 043-241-7925

までご連絡ください。

■本誌の発送について

毎月、藤森巳行が宛名シールを作成し、印刷所から発送してもらっています。万が一、届かなかった場合には、担当の藤森までご連絡ください。

● 訃 報 ●

十月四日、前岡山支社長の中島義雄さんが逝去されました。

謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

【地中海社】

・ 藤森：TEL 090-8301-6423